



と樽廻の模型船である「御船」を操り、御神輿の先供をする行事です。
 当日は天候にも恵まれ、浴衣姿の「船若」と呼ばれる青年が柱起こし、帆揚げの後、古雅な練り歌に合わせて荒々しく担ぐと、沿道の観客からは大きな歓声と拍手が巻き起こりました。

この神事は、江戸時代の相良湊の廻船業者が海上安全や商売繁盛を祈願したのが起源とされています。
 長さ2メートルほどの菱垣廻船



指定重要無形民俗文化財「大江八幡宮の御船神事」と県指定重要無形民俗文化財「飯津佐和乃神社の御船神事」が9月14日に営まれました。
 この神事は、江戸時代の相良湊の廻船業者が海上安全や商売繁盛を祈願したのが起源とされています。
 長さ2メートルほどの菱垣廻船

